



小国産第 103号
平成19年5月8日

国土交通省道路局長 様

熊本県小国町長 北 里 耕 亮



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について（回答）

このことについて、下記のとおり回答いたします。

記

・重点化を進める上で特に優先度の高い施策

①地方の生活道路の整備を

少子高齢化・人口減少などにより、地方の住民は日常の生活行動範囲をより広域化せざるを得なくなってきています。本町においても、小学校の統廃合を控えており、スクールバス等の効率的運営が課題となっています。

住民の生活行動パターンに対応できる、生活道路整備に対する支援を希望します。

②災害に強い広域基幹道路の整備を

山間過疎地域にとっては、観光開発や企業誘致に、広域的基幹道路は必要不可欠です。県境に位置する本町の場合、高速道路や空港へのアクセス向上のためには、県境を越えた連携が必要であり、国主導の広域的整備を期待します。

・効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

計画や設計の見直しによるコスト削減とともに、農水省などの省庁やその他のインフラ整備の機関等と連携を密にして、無駄な投資が生じないようにしていただきたい。

・その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関する意見

厳しい地方財政のあおりを受けて、地方道路の維持・管理の予算が十分に確保できていません。施設の安全性の確保に加え長寿命化のためにも、適正な維持管理が必要です。地方道路の維持管理への支援を希望します。

また、道路維持のコスト縮減につながる技術開発にも期待します。